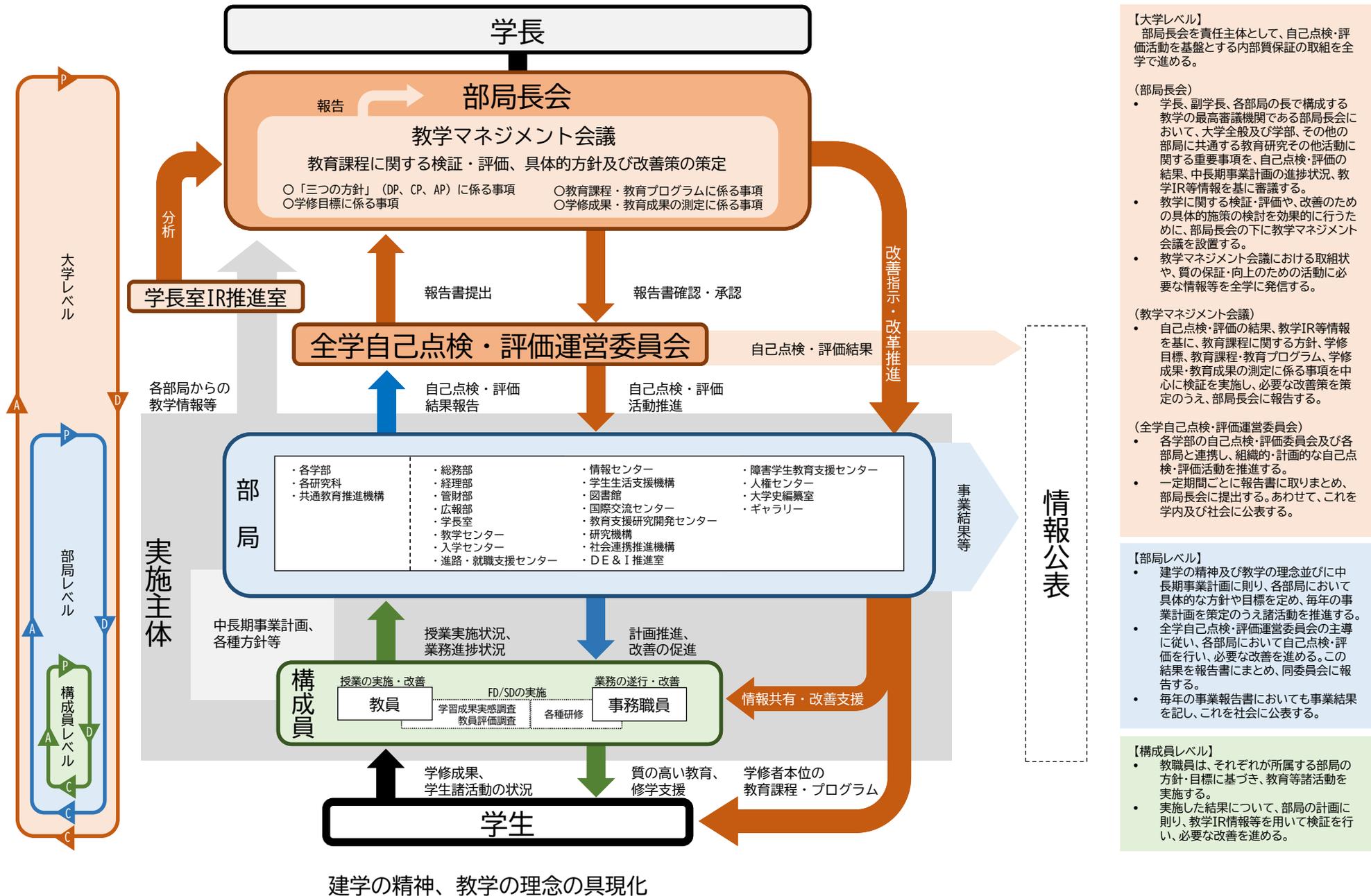


# 京都産業大学 内部質保証の考え方及び手続

- 建学の精神及び教学の理念を具現化し、社会的使命を果たすため、中長期事業計画をはじめとする各種方針等に則り、教育研究、社会貢献等諸活動を進める。
- 内部質保証として、自己点検・評価を組織的・恒常的に実施し、この結果を基に、質の保証・向上及び社会に対する説明責任を果たしていくための不断の改善・改革を全学で進める。



**【大学レベル】**  
 部局長会を責任主体として、自己点検・評価活動を基盤とする内部質保証の取組を全学で進める。

**(部局長会)**

- 学長、副学長、各部局長で構成する教学の最高審議機関である部局長会において、大学全般及び学部、その他の部局に共通する教育研究その他活動に関する重要事項を、自己点検・評価の結果、中長期事業計画の進捗状況、教学IR等情報を基に審議する。
- 教学に関する検証・評価や、改善のための具体的施策の検討を効果的に行うために、部局長会の下に教学マネジメント会議を設置する。
- 教学マネジメント会議における取組状況や、質の保証・向上のための活動に必要な情報等を全学に発信する。

**(教学マネジメント会議)**

- 自己点検・評価の結果、教学IR等情報を基に、教育課程に関する方針、学修目標、教育課程・教育プログラム、学修成果・教育成果の測定に係る事項を中心に検証を実施し、必要な改善策を策定のうえ、部局長会に報告する。

**(全学自己点検・評価運営委員会)**

- 各学部の自己点検・評価委員会及び各部局と連携し、組織的・計画的な自己点検・評価活動を推進する。
- 一定期間ごとに報告書に取りまとめ、部局長会に提出する。あわせて、これを学内及び社会に公表する。

**【部局レベル】**

- 建学の精神及び教学の理念並びに中長期事業計画に則り、各部局において具体的な方針や目標を定め、毎年の事業計画を策定のうえ諸活動を推進する。
- 全学自己点検・評価運営委員会の主導に従い、各部局において自己点検・評価を行い、必要な改善を進める。この結果を報告書にまとめ、同委員会に報告する。
- 毎年の事業報告書においても事業結果を記し、これを社会に公表する。

**【構成員レベル】**

- 教職員は、それぞれが所属する部局の方針・目標に基づき、教育等諸活動を実施する。
- 実施した結果について、部局の計画に則り、教学IR情報等を用いて検証を行い、必要な改善を進める。